

核融合エネルギーフォーラム会員各位

令和 4 年 10 月 21 日

炉工学クラスター 炉材料サブクラスター
世話人 橋本直幸（北大）
世話人 谷川博康（量研）

炉材料サブクラスター会合
（令和 4 年度第 2 回）のご案内

平素より、核融合エネルギーフォーラムの活動にご協力いただきありがとうございます。
でございます。

さて、炉工学クラスター 炉材料サブクラスターにおいては、幅広いアプローチ（BA）活動を中心とした国内外の核融合炉材料研究開発について、専門家を交えた幅広い意見の交換と情報の共有を図り、原型炉開発に向けた課題抽出と解決のための方策について議論を重ねて参りました。

この度、原型炉開発に向けたロードマップ及びアクションプランにおける炉材料研究開発の位置づけを再確認するとともに、最新の原型炉開発計画に即した今後の材料研究の展開・役割・貢献について確認するため、令和 4 年度第 2 回会合を開催することと致しました。

核融合炉材料に関する課題として、低放射化フェライト鋼を主対象に、これまで様々な溶接・接合技術の開発が進められてきたところです。今後は原型炉への適用を視野に、技術の絞り込み、原型炉用溶接・接合施工要領の検討、照射試験を含む基盤データベースの整備、さらに将来の規格・基準策定に向けた検討を進めていく必要があると考えております。本会合では、これまでに得られた知見と課題を確認することで、個々の技術の原型炉への適用範囲をより具体的にイメージし、喫緊の課題である原型炉設計用データベース整備指針を中心に、接合技術研究開発の展望を広く共有することを目的とします。

以下に、開催要領を記します。皆様方のご参加、宜しくお願い致します。

記

日時：令和 4 年 12 月 15 日（木）13 時～16 時

場所：遠隔形式

予定議題：

- 1) はじめに
- 2) 接合データベース整備の状況と今後の方針
- 3) 原型炉に向けた溶接技術
- 4) 低放射化フェライト鋼の溶接割れ感受性
- 5) 線形摩擦接合及び摩擦攪拌接合技術の進展と課題
- 6) HIP 接合界面の健全性評価技術の進展と課題
- 7) 総合討論

○申込先・連絡先：

野澤貴史（量研、0175-71-6534、nozawa.takashi@qst.go.jp）

○参加申込締切：
令和4年11月17日（木）

- ・核融合エネルギーフォーラム会員のみが参加可能です。事前登録（申込）を必ずお願いします。
- ・本会合の議事内容、録音、録画ならびに発表資料等の公開はご遠慮下さい。（講演者他の同意を得た会合報告や発表資料等を核融合エネルギーフォーラムの下記ホームページに掲載しますのでご覧下さい。）

<https://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>

（・本会合で講演や発表などを希望される方は、タイトルや要旨を添えてお申し込み下さい。但し、時間の制約などご希望に添えないこともありますので、予めご了承下さい。）

・コメント等がありましたら、参加申込書の該当欄にご記入下さい。

※申し込み・問い合わせとも、核融合エネルギーフォーラム事務局ではありません。ご注意下さい！

----- 参加申込書 -----

炉材料サブクラスター会合
（令和4年度第2回）

氏 名：
会員 番号：
所属・職位：
連絡先：
電子メール：
コメント欄：

会合への参加はフォーラム会員に限らせていただきます。入会ご希望の方は、
<https://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>
にアクセスし、サイドメニュー「入会のご案内」をご覧下さい。
入会に当たり会費及び入会費は不要です。

以上

核融合エネルギーフォーラム事務局
E-mail: fusion-energy-forum@qst.go.jp
FAX: 029-270-7468
